

開講期	2026年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	1123 日本財政の課題			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	水曜1限				
教室	B207教室				
代表教員	半谷 俊彦				
担当教員	半谷 俊彦				
テーマと到達目標	<p>財政とは政府が資金を調達・管理・支出することをいう。この授業では、日本の財政が直面している課題について学ぶ。</p> <p>日本財政にはどのような課題があるかを知るとともに、どのようにして解決すべきかを自ら考えられるようになることを目標とする。</p>				
概要	<p>財政赤字対策、所得再分配、景気対策、年金制度維持、少子化対策、経済成長政策などを、政府の収入と支出を通じて考える。</p> <p>授業はグループ・ディスカッションを中心に進める。</p> <p>毎週、授業終了後、数日以内に400字程度のレポートの提出を求める。</p> <p>学期末の試験期間中に小論文テストを行う。</p>				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	増税すべきか政府支出を削減すべきか (均衡財政の是非を考える)			半谷俊彦	対面授業
第2回	裁量的財政政策は容認できるか (積極財政の是非を考える)			半谷俊彦	対面授業
第3回	政府支出増大はどうすれば抑制できるか (経費膨張の法則を学ぶ)			半谷俊彦	対面授業
第4回	どの支出を削減すべきか (政府の役割を考える)			半谷俊彦	対面授業
第5回	財政収支は黒字にしなければならないか (現代金融理論を学ぶ)			半谷俊彦	対面授業
第6回	応能課税と応益課税のどちらを増やすべきか (租税負担原則を考える)			半谷俊彦	対面授業
第7回	高所得者には高い税負担を求めるべきか (所得税を考える)			半谷俊彦	対面授業
第8回	所得再分配と経済成長はどちらを優先すべきか (所得税を考える)			半谷俊彦	対面授業
第9回	増税するなら消費税か所得税か (消費税を考える)			半谷俊彦	対面授業
第10回	法人税は必要か (法人税を考える)			半谷俊彦	対面授業
第11回	たばこ税や酒税は必要か (課税根拠を考える)			半谷俊彦	対面授業
第12回	富の再分配はどの程度すべきか (相続税を考える)			半谷俊彦	対面授業
第13回	国民年金は存続させるべきか (国民年金を考える)			半谷俊彦	対面授業
第14回	後期高齢者医療の自己負担率は引き上げるべきか (後期高齢者医療制度を考える)			半谷俊彦	対面授業
第15回	大きい政府と小さい政府のどちらを目指すべきか (これからの日本財政を考える)			半谷俊彦	対面授業
成績評価の基準	<p>毎回の授業終了後に提出を求めるレポートと期末試験期間中に実施する小論文テストで評価する。</p> <p>小論文テストでは、あらかじめ示すテーマについて、試験会場において800字程度で自分の考えを文章にして提出する。持ち込みは不可とする。</p> <p>配点は次の通り。毎週提出するレポート：60点、期末試験期間中の小論文テスト：40点</p>				
履修にあたっての留意事項	<p>授業中にグループ・ディスカッションを行うので、積極的に参加すること。</p> <p>授業中に使用するので、デジタルデバイス (ノートPC、タブレット、スマートフォンなど) を必ず持参すること。</p> <p>配付資料は和光メールと Google Drive を通じてPDF形式で配付する。</p>				

	毎週の課題は、Google Form を通じて提出する。
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細	
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件	

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	教科書は使用しない。和光ポータルとGoogle Driveを使用して資料を配付する。	教科書(ISBN)	
参考文献		参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	<p>本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること</p>
--------------------	---